

・委員	浦田 太	吹田市立千里丘中学校 校長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	藤浦 雅彦	吹田東高等学校 PTA会長
	本岡 直樹	吹田東高等学校 後援会会長
校長	佐々木 啓	吹田東高等学校 校長
事務局	井川 紀代子	吹田東高等学校 教頭
	芝野 雅人	吹田東高等学校 事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	山室 裕	吹田東高等学校 首席

◆開会挨拶

「大阪府立吹田東高等学校 校長 佐々木 啓」

◆議 事

○報告事項

(1) 授業アンケートについて 《資料1》

【結果報告】

(佐々木校長より資料説明)

- ・1回目（7月）と比べて、2回目（12月）の肯定的回答は1年生では全ての項目で下がっており、2年生は全て上がっている。
- ・1年生では1学期より授業が難化しておりこのような結果になっていると思われる。
- ・2年生は高校の授業に慣れてきてこちらの意図することが理解できてきたように思われる。
- ・3年生は2学期に進路が決定する生徒が多くなり、アンケート結果に影響していると思われる。

委員 昨年もそうだが、1年生が12月に低くなっているのは7月が少し高かったのもあるのではないかと思います。

Q.委員 2年生では「生徒の意見や要望を取り入れ、授業改善に生かしている」という項目が他より低いのはなぜか。

A. 生徒が要望するものをそのまま取り入れると本当に身につけさせたい力がつかない事もある。

このようなことを生徒に伝えきれていないところもあったと思われる。

A. 3年生は進路が決定した生徒も最後まで緊張感を持ち、意欲的に取り組んだ生徒が多かった。

(2) 学校教育自己診断について 《資料2》

【結果報告】

(村上首席より)

- ・アンケート結果についてはWeb ページ等を通じて生徒と保護者に返す。
- ・全体的に昨年より肯定的回答の値は若干下回っている。
- ・「吹田東に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は生徒の方は昨年より低くなっているが学年が上がるに連れて高くなっている。保護者は8割超えている。

- ・授業の満足度については生徒・保護者共に肯定的回答は低い結果だった。生徒の授業アンケート結果からも、生徒が期待するものと、こちらが身につけさせたい内容に違いもあると思うが、今後も検討、改善に努めていきたい。
- ・教員の講習に参加した生徒の満足度は高い評価を得ている。
- ・学校行事、部活動への取り組みについては生徒・保護者共に多くが「積極的に参加している」と回答している。今後も学校行事の充実と部活動の活性化については取り組んでいきたい。
- ・進路指導の取り組みについて、生徒の肯定的回答は約7割と高いが、保護者の連絡、意思疎通の肯定的回答は6割弱と低いので、生徒にも必ず情報等、確実に連絡するよう指導していく。
- ・生徒指導については、記述のアンケートでは「厳しすぎる」という意見と「今の指導で」という意見がいくつかある。保護者の約7割が共感できるという回答になっている。学校説明会でも生徒指導の方針については毎回説明しているが、今後も落ち着いた環境で授業や学校生活が送れるように指導していきたい。
- ・「Web ページを見るか」の肯定的回答は、保護者・生徒共に非常に低い。情報提供を携帯メールで行っているが、そちらの保護者の肯定的回答は非常に高かった。今後はWeb ページでの情報提供も有効的に活用できるように工夫していきたい。
- ・施設についての満足度は高くないが、新校舎に向けての工事で在校生に負担がかかっているのも原因だと思われる。しかし、生徒は臨機応変にこちらの指示に対応してくれている。
- ・今年は大きな災害があり、それについての記述意見がいくつかあった。連絡の方法など再検討を行い改善していきたいと思う。

(校長より)

- ・自由度が高い学校ほど、アンケートの結果は肯定的回答が高い。本校はそういう部分では生徒は少し窮屈に思っているかもしれない。
- ・疑問を持って行動するということが違うとらえ方をしている生徒がいることもあるので、生徒に正しい理解を求めていく。

委員 会社では権利を主張するなら義務を果たすということが言える。色々な意見がこのアンケートで出てきているが、高校生もまずやるべきことをしっかりおこなえばいいのではと思う。

Q.委員 記述意見で災害時の対応の事がいくつか書かれているが、登校時に起こったので連絡が混乱したと思う。今後、これを教訓として改善していけばと思う。

A. 防災計画は見直していく必要があると思う。府教委の指示で学校に備蓄品が運び込まれている。地域や学校によって被害の状況など違い、他校との比較からも混乱を招いているところもあったと思う。

委員 地域としても、小中高と連携していきたいと思う。

委員 学校の教員による講習の評価が高いのは良いことだと思う。

委員 クリーンキャンペーンに参加している地域の方は高校生との交流を毎年喜んでいるので今後も参加したい。

委員 記述意見を見ると、進路指導や生徒指導の事など賛否両方の意見があり対応が難しいと思った。

A. このような意見があるという内容については教員に返す。

(3) 平成30年度学校経営計画の達成状況について 《資料3》

(校長より資料説明)

Q.委員 「気軽に相談できる先生がいる」の数値が低いですが、担任以外にどのような先生と接点があるのか。

A. 保健室に行く生徒は養護教諭が相談に乗ってくれるが、そうでなければ部活や教科担当の教員になる。しかし、学校生活にけじめをつけさせるため生徒指導を厳しくしていると、気軽に話にくい生徒もいると思われる。

委員 生徒は厳しいから話しづらく思っているようだが、実際はそうではなく厳しいからこそ何かあれば相談に乗ってくれるということが生徒に伝われば良いと思う。

委員 ちょっとしたことでも教員が日頃声かけをすることで、生徒は相談しやすいと思うのでは。

Q 委員 働き方改革に関わることで、来年は校舎移転もあり、生徒と関わる時間にも影響すると思われるが、改善策はあるのか。

A. 来年度から校内の組織改編を行い、仕事量の平準化が少しでもできればと思っている。
その他の抜本的な改善策はなかなか難しい。

Q 委員 ICTを導入するとその準備に多くの時間がかかるという話が前回出ていたが、その専門の教員を配置することはできないのか。

A. 学校現場ではできないので、詳しい教員に負担が掛かっている。

委員 学校では何かを止めるという事がほとんど無く、いいものはどんどん取り入れていくと業務量は年々増加していく。

委員 会社では生産性の低いものは止め、高いものしか残さない。そうすれば減るものができる。

A. いろいろな要望に答えていくのも仕事量の増加につながっている。

○協議事項

(1) 平成31年度学校経営計画について 《資料4》

(校長より資料説明)

・《めざす学校像》については、大きな変更はないがコンパクトにまとめた。

・《中期的目標》について

新学習指導要領の実施を見据えて考えていく。

「論理的に考える態度を育む」を追加した。

「広報活動に力を入れる」を追加した。

・《取組み内容及び自己評価》について

「授業形態の工夫やICTの効果的な活用」ということを重点目標においた。

「論理的に考えるよう指導を行う」を新たに追加した。

来年度から広報部を新設した。

「校内組織等の見直しを行い、教員の働き方改革を進め、教職員の健康を守ると共に、生徒と向き合う時間を増やす」を新たに追加した。

Q 委員 新校舎に移ったら始めようとしていることはあるか。

A. 予算の関係があるが、無線ランを取り入れて授業等に活用したい。

Q 委員 新校舎を地域の方に披露する計画はあるのか。

A. 校舎だけでなく生徒の姿も見ていただくために文化祭を公開し、来ていただければと考えている。

◆閉会挨拶

佐々木校長より